

[発行]
日本共産党
四條畷市委員会
中野本町4-24
TEL/FAX
072-879-5016

四條畷市議会議員
岸田 あつこ
清滝29-1 A-201
TEL/FAX
072-803-0303

かんばら泰晴
北出町27-2
TEL/FAX
072-865-2551
072-865-4610

日本共産党四條畷市委員会
は紙面のような企画をしまし
たのでお知らせします。

〜日本共産党演説会〜 安倍内閣打倒の展望見えた！

野党共闘のかなめ共産党躍進を必ず

5月22日(日)、四條畷で日本共産党演説会が開かれ、約60人が参加しました。

はじめに岸田あつこ議員から、住民無視と杜撰な計画のもとで強行されようとしている「学校統廃合」に反対する住民運動が起こったのは、安倍暴走政治ストップに立ち上った市民と共通のものであること。日本共産党の躍進で、住民の声を尊重する政治の実現を訴えがありました。

初参加の女性も

初めて演説会に参加した女性は「共産党の演説会がこんな和やかなものとは思わなかった」と意外な感想を述べられ、「こぶしを振り上げて、安倍さんを罵倒するものか。わたなべ結さんの人柄と政策がよく分かった」と微笑まれました。

ら、若い女性としての悔しさがにじみ出、目が潤む一幕もありました。

大阪は4議席、自公と維新が2人立ってすべての議席を取ろうとしている。戦争法推進勢力に大阪を独占させるわけにはいかない。「なんとしめて、私、わたなべ結を」と気迫の訴えの後、次の演説会場へと急ぎました。

参院選で自公・維新を少数勢力にし 安倍政権打倒を

続いて訴えに立った辰巳孝太郎(たつみこうたろう)参議院議員は、消費税10%の来年4月実施反対で、共産党をはじめとする4野党が合意したことはこれに留まらず、「軽減税率」を名目にした、将来の消費税増税に歯止めをかける意義をも持つこと。さらに、衆議院選挙でも、できるだけ共闘体制をつくる

わたなべ結 沖繩米兵の犯罪に 悔し涙

分刻みの日程をこなしながら、元氣いっぱいなのわたなべ結さん。訴えの冒頭、また沖縄で起こった元米兵による女性の死体遺棄事件にふれ、「基地がなくなるなら限り、米兵の犯罪はなくなり、辺野古に新基地などもってのほか」と訴えなが

米兵の犯罪に悔し涙を
浮かべるわたなべ結さん



声援にこたえるわたなべ結さん



空前の住民運動を説明する岸田議員



ことを合意できたことは、今年2月の野党合意のときより、国民の願いをより反映した共闘体制になるうとしていることを強調。これは、2千万署名などで、日増しに大きくなる「野党は共闘の声」と「共産党が躍進し共闘のかなめ」となっていることが大きいと、躍進した共産党の値打ちを訴えました。来るべき選挙で共産党をさらに躍進させることが野党の結束を固め、安倍内閣を倒す力になると、わたなべ結、大門みきし、市田忠義を国会へと訴え、会場いっぱい共感の拍手に包まれました。

戦争法廃止のため
わたなべ結さんをぜひとも
訴える辰巳孝太郎参議院議員



戦争法廃止四條畷市民の会は毎月9の付く日に街頭署名活動をしています。4月末、全国集計で署名は1200万人を超え、あと一息です。



5月19日栄通商店街で



4月29日ダイエー前で

戦争法廃止市民の会
2千万署名達成へ
粘り強く署名活動

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶし

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 823円

排ガスによる健康被害の減少を！ 住民によるNO2測定運動実施

大気汚染の指標NO2濃度を住民自身の手で測り、身近なところの空気の汚れを調べる運動、「ソラダス2016 全府いっせいNO2測定」が5月19日（20日の24時間で行われ、日本共産党の岸田あつこ市会議員も住民とともにこの運動に参加しました。



全国平均より はるかに多い大阪の ぜん息の子ども

測定前の14日（土）午後には、大阪NO2簡易測定運動本部実行委員会の実行委員長、西川榮一氏（神戸商船大学名誉教授）に四條畷市の教文センターに来ていただき、学習会を開催。

学習会では、子どもたちの中でぜん息が30年間で3〜5倍も増え、大阪の被患率は常に全国平均をはるかに上回っている実態が示されました。この主な原因物質は自動車排ガス、中でもディーゼル

排ガスに含まれる窒素酸化物などで、二酸化窒素（NO2）を測れば、それら大気汚染の実情がわかり、行政に働きかけることもできます。

環境省、排ガスと ぜん息との関連性 認める

西川氏は、国民の長年の運動により、環境省は2013年、「排ガスとぜん息発症の関連性が認められた」と初めて認め、15年には現在定められているNO2の環境基準（0・06PPM）以下でもぜん息との関連性を認める発表をし

たので、基準をより厳しくするよう求める運動が必要だと話されました。

19・20日には、四條畷市内の50か所でNO2を測定するためのカプセルの取り付け・取り外しが行われました。測定結果がまとまれば、改めて報告するとともに、実行委員会は今後、行政との意見交換も行いたいとしています。



臨時議会を傍聴して(4)

60代女性(田原台在住)

校区住民投票条例が議会で審議される様子は、子どもたちの毎日の生活が全く見えないものでした。特にひどいのは教育長の発言で、およそ教育現場に縁のない人だと感じました。

27年前、旧田原小学校が現在の場所に移転する時、当時の桜井教育長と保護者の話し合いが何度も開かれ、通学路が安全かどうか为重点的課題でした。一つ一つの意見にまじめに答える人柄が見えました。教育現場を知り尽くした教育

長が必要です。

採決の結果は予想通りでした。市長と市会議員を選んだのは市民です。慎重に選挙に取り組むべきだと思っていました。

道路の狭い四條畷市では、子どもたちの毎日の通学は学校に到着するまで心配です。統廃合されると安全の確保はさらに厳しいものになります。

子どもが笑顔で楽しい学校生活を送れることは、大人の責任です。市民の声に寄り添う市政を望みます。

第10回 『わがまち発見ウォーキング』

5月21日（土）快晴の中、四條畷市水みらいセンターで『第10回わがまち発見ウォーキング』が開かれ、15人が参加。

センター建設の際、発掘された『埋葬された馬の全身骨格』など「馬養の里」を埋蔵物で立証する研究の跡をたどりしました。

講師は、市教育委員会の

村上始氏。『わがまち発見ウォーキング』の講師を何度も引き受けていただき、系統的に四條畷の埋蔵文化財の豊富さと価値、これらを守ることの意義を訴えておられます。

今回は、埋蔵物が発掘された現地での説明会で、馬



「はにわ親子馬」(イオンモール入口)

型埴輪（はにわ）の出た地形から「埴輪は、古墳の周りに並べられているとされていたが、ムラの境界を守るものとしても並べられていたと考えられる。生産した窯の跡との説もあるが」と説明。現地の地形と併せて見ると説得力のある説です。

発掘がさらに進み、そのような例が増えると、教科書を書き換える発見となります。



埋葬された馬の全身骨格の説明を聞く参加者

イオンモール入口横に飾られた「はにわ親子馬」像の前に案内した村上氏は「製作者と何度も打ち合わせて正確なものにした」と述べられ、ただの飾り物ではなく、出土品を正しく伝えようとする研究者としての一面を見せておられました。最後に村上氏は、「『飯盛城跡の国史跡指定』があと一步まで来ています。指定が実現するよう市民の皆さんの後押しが必要です」と訴えられました。

こうして、古墳時代の

最先進地域「わが町」を満喫し、暑さも忘れた講義となりました。



馬型埴輪
南山下遺跡出土



子馬型埴輪
忍ヶ丘駅前遺跡出土